

日本スポーツ栄養学会 第8回大会に参加して

フリーランス 公認スポーツ栄養士 金子香織

2022年8月27日（土）、28日（日）現地にて、9月12日（月）～9月30日（金）オンデマンド配信にて日本スポーツ栄養学会第8回大会が開催されました。

大会会場の相模女子大学は最寄りの駅から10分程歩き、正門からの緑あふれる景色に癒され、キャンパス内にいるヤギに挨拶をして会場に到着しました。

大会会場は席の間隔を空けた上で、どの演題もサテライト（中継会場）が準備されており、受付時に各自が座った席を自身で消毒できるように消毒用のウェットティッシュが配布されるなど、with コロナの大会の細やかな配慮が行われていました。

28日に開催された日本臨床スポーツ医学会合同シンポジウムでは「極を究めた選手のサポート」として4名の医師、公認スポーツ栄養士の先生方がそれぞれの立場からお話いただきました。最前線で行っている日本のトップアスリートのサポートを、事例を踏まえデータを示していただきながら臨場感のあふれるご講演をいただきました。

午後のシンポジウム3の「暑熱環境と寒冷環境におけるスポーツ実践活動」は、暑熱環境における対策と、寒冷環境における対策についての内容でしたが、両者において脱水の予防が課題として挙げられていたのが印象的でした。

シンポジウムの1の「コロナ禍でスポーツ栄養実践活動」を始め、一般発表でもコロナ禍におけるスポーツ現場での栄養サポートに関連する報告が多数ありました。関連する報告の中では「感染予防と食環境整備」「非対面による栄養サポート（オンライン講義、SNSの使用など）」「隔離期間における栄養サポート」などが課題として挙げられていました。多くの公認スポーツ栄養士の皆さんの取り組みを目の当たりにし、多くのエネルギーを頂きました。

一般発表では「研究・調査発表」、「実践活動報告」に加えて「症例報告」が設けられたこともあり、多くの口頭発表、ポスター発表（オンデマンドのみ）がありました。研究結果や、サポートの実践の経験をデータとして蓄積し、発信しながらwithコロナの先の新しいスポーツ栄養学の形を皆さんと共に構築していくことの重要性を強く感じました。

オンデマンド配信では、コロナ禍でなくても現地参加が難しい方や、対面参加をしても、同じ時間帯に参加したいプログラムが複数あった場合なども集中して気兼ねなくプログラムを拝聴できるのはとても嬉しかったです。

28日に行われた閉会式は、大会長である柳沢先生から8月28日時点で大会参加が1000名を超え、現地開催を行った事で多くの仲間との久しぶりの対面の場面も多く見受けられ、とても良かったとの声が多くあったと、嬉しいご報告がありました。本大会は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響で学会大会として3年ぶりに現地開催が行われました。対面での開催と、後日オンデマンド配信と同時並行新しい試みのご準備は本当に大変だったと思います。素晴らしい大会をご準備いただいた大会長を始めとした実行委員やスタッフの皆さまに心より御礼申し上げます。また、大会参加者の皆さま、JSNA会員全ての皆さまと来年の大会を盛り上げて次回も参加するのを楽しみにしております。